

ねらい

- ◎自分の思いを十分に出して友達とかかわり、楽しんで遊ぶ。
- ◎身近な自然や生活の変化に気付き、興味や関心をもつ。
- ◎冬の生活に必要な習慣を身に付ける。



内容

- 【健康】 ・寒さに負けず、戸外で元気に遊ぶ。
- 【人間環境】 ・自分たちの思いや考えを出し合って遊ぶ。
- 【環境】 ・身近な材料や用具を使って、遊びに必要なものを描いたり、作ったりする。
- ・風の冷たさや霜、氷など冬の自然の変化に気付く。
- 【言葉】 ・見たり感じたりしたことなどを自分なりに言葉で表現する。
- 【表現】 ・リズムカルに歌ったり踊ったりして、表現することを楽しむ。
- ＜歌＞ あわてんぼうのサンタクロース・お正月 など
- ＜体操＞ サンタはいまごろ・シングルベル など



友和苑に届けに行ったよ！

毎年、高齢者施設との交流を通していろいろな人と関わる経験をしています。コロナウイルス感染症対策のため、施設の方と直接の交流はなかなか難しい状況ですが、少しでも高齢者の方に心を寄せることができたらと考え、4歳児で「どんなことをしたら喜んでくれるかな？」と話し合いました。「お手紙を書く！」「プレゼントを作るのはどう？」といろいろな意見が出た中で、壁に飾ってもらえるよう大きな壁面飾りを作ることになりました。

「カラフルにした方が可愛いかな？」と色を塗ったり、ハサミで丸く切ったり、折り紙で覚えたばかりのどんぐりや得意なものを作って貼ったりして素敵なプレゼントが完成しましたよ。

友和苑までの道のりで初めて信号を渡りました。毎月、交通安全指導日で横断歩道の渡り方や信号機の見方を再確認しているので「赤は止まれたね」「青になったよ！」と安全確認をしながら渡ることができました。

プレゼントは入所者のおばあちゃんが代表で受け取ってくださいました。喜んでくださっている姿を見て子どもたちも嬉しそうでしたよ。



社会生活との関わり



ピカピカタイム

11月から、給食を食べた後にお当番がピカピカタイムとして、雑巾がけをしています。水で濡らして「ぱたん半分こ、のり巻き、まきまき」細くなったらしっかりと絞ります。初めは上手に絞れなかった子も、保育者と一緒に絞ったり、友達の絞る姿を真似したりしながら、だんだん固く絞れるようになってきました。雑巾がけも膝をあげて真っ直ぐ進めるようになってきましたよ。

ピカピカタイムの後は、「足が疲れたけど頑張ったよ」「雑巾がこんなに真っ黒になった！」と部屋がきれいになった喜びを味わっています。

自立心



手首を使ってギュッとひねるよ



おねがい



- ハンカチの忘れ物が多くなってきました。登園する前に、忘れていないか見届けと自分で気付けるように声掛けをお願いします。
- 園に置いてある着替え袋の中身を冬服に替えてください。また、サイズが小さいものや記名のないものも、ご確認よろしくをお願いします。

